

平成10年4月20日 発行



# 議会

—第106号—

ひがしなるせ

# だより



## 育苗センター始動!!

(4月15日、第1回目の種まきを行う)

### もくじ

- ・こんなことが決まりました…………… 2～3ページ
- ・一般質問……(富田 義行 議員) …… 5ページ
- ・一般質問……(伊勢谷政雄 議員) …… 6ページ
- ・村長の行政報告…………… 7ページ

### もくじ

- ・教育長の教育行政報告…………… 7ページ
- ・新年度予算の主な質疑…………… 8～9ページ
- ・請願・陳情などの処理状況…………… 10ページ
- ・私もひとこと(滝の沢・菅野由美子さん)…10ページ

発行  
東成瀬村議会

編集  
議会広報対策特別委員会

〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1  
☎(0182)-47-2111

## 平成10年度一般会計

# 予算総額31億9千3百万円に

### 栗駒山荘の改築工事が最終年度に…



今日からよろしくネ! (山ゆり保育園にて)

## 3月定例会

こんなことが  
決まりました

三月定例会は、三月五日から十一日までの会期で開かれて平成十年年度の各会計予算案や平成九年度の補正予算案などのほか村税・国保税条例の改正案や収入役の選任に関する議案などが提出された。さらに会期の最終日には議員発議で、国の機関などへ提出する意見書案が追加されこれらすべての議案などは原案可決となった。

### 三月定例会の提出案件と主な内容

- 専決処分の承認を求めることについて
- ・融雪剤散布機器の更新のために専決処分して予算措置したことの承認を求めるもの
- 東成瀬、村づくり活性化資金に関する条例の制定について
- ・奨学金や物産振興資金の貸し付け制度を定めたこれまでの条例を廃止して、新たに条例を作って貸し付け制度を続けて行こう、というものであった。
- 村、地域振興基金条例の廃止について
- ・所期の目的を達成した基金などの整理に伴う措置であった。
- 村、土地開発基金条例の一部改正について
- ・基金の額を一千九百万円から四千万円に増額するという内容であった。

### 村営土地改良事業の分担金を変更

椿川の間木せきと岩井川の大石せきは増額

田子内の中通せき整備は減額

いずれも満場一致で原案可決となった

椿川の間木せきは、山腹水路であるため蛇行が多く当初設計よりも水路延長が十四メートル伸びたこと、しかも土砂の崩落が激しいことから水路の蓋も当初の計画よりも増えたことなどの理由で分担金を増額変更するとう内容であった。また岩井川の大石せきは発電所へ余水を流すための

余水吐けを造ったことによる増額であった。田子内の中通せきでは、水路の延長が減ったことや側溝に既設の側溝を活用したことなどによる負担金の減額であった。これら三か所の水路工事はいずれも工事を完了して今春から利用できることになっている。



産建委員による現地踏査 (間木せき)

### 携帯電話の通話が可能に

来年1月には大字田子内地区と岩井川の一部で携帯電話が使える

近年では生活の必需品になりつつある携帯電話だが、村内での通話可能区域は田子内の一部などに限られている。村では「携帯電話の通信可能区域の拡大を図ろう」と、国や県などの補助を受け、平成十年度事業で秋田県内では初めての「移動通信用鉄塔施設」を建設することになった。

中学校の高台付近に建設を予定しているこの鉄塔は、高さが五十メートルもあって、これが完成することにより鉄塔からの半径二・五キロ以内が通話可能区域となる。

来年の一月ころからは、大字田子内地区と岩井川の一部が携帯電話の通話可能区域になる予定である。

### 佐々木収入役を再任



平成十年三月三十一日の任期満了となる現収入役の佐々木統一氏を、再任することに同意を求める議案が提出され、議会は満場一致でこれに同意をした。

佐々木氏は民生課長・総務課長、収入役室長を経て昭和六十年四月には収入役職務代理者に就任。六十年四月から収入役に選任され、今回が四期目となる。

(再選された佐々木統一氏)  
昭和十四年八月二十二日生 (五十八歳)  
田子内字天神林一〇一八

### 3月定例会の提出案件と主な内容

- 村税条例・国保税条例の一部改正について
  - ・特別減税に伴う税法の改正やエンゼル税制の創設などによる村の条例の改正であった。
  - 監査委員に関する条例の一部改正について
    - ・条文を整理するためのものであった。
    - 保育所入所措置条例の一部改正について
      - ・この条例中の文言の修正が主な内容であった。
      - 村、廃棄物の処理および清掃に関する条例の一部改正について
        - ・法律の改正に伴い、一般廃棄物処理業の許可更新期間を改めるという内容であった。
        - 村、簡易水道給水条例の一部改正について
          - ・水道法および政令・省令の改正に伴って村の条例の条文や表現を改めるものであった。
          - 村、簡易水道特別会計への繰り入れについて
            - ・一般会計から簡易水道特別会計へ繰り入れることの出来る額を定めるものであった。
            - 平成九年度、各会計の補正予算について
              - ・一般会計をはじめ、五つの特別会計に関する補正予算であった。
    - 移動通信用鉄塔施設整備事業分担金徴収条例の制定について
    - 村営土地改良事業分担金額の変更について
    - 収入役の選任について
      - この三議案の主な内容などは三ページに特集している
    - 各会計の新年度予算について
      - ・一般会計をはじめとする、五つの特別会計の新年度予算が提案された。
      - これらの議案のうち一般会計予算に関する主な質疑を、八〇九ページに特集している

# ここが聞きたい!!

# い つ ぱ ん し つ も ん

(一般質問の記事原稿は質問した議員本人が執筆しております)

三月定例会の一般質問には、二議員が登壇し

次のような事項について、それぞれ村の考えをたどした。

富田 義行 議員

伊勢谷政雄 議員

◇沼の又国有林内の林道

(焼石登山道)の管理責任の明確化を

◇労働基準法の精神に立ち

筆耕扱い職員の雇用条件改善を

◇歯科診療体制実現に関して

検討されている方策について

◇村営住宅の構造や着工年度などについて

◇介護保険法の実施と村の対応について

◇不況下の村内業者へ、村としての支援策を

◇幸寿苑に対する一般会計からの

繰り出しを必要とする主な要因は

◇介護保険制度が導入されたときの

幸寿苑の運営は、今とどう違うのか

◇村長の考える今後の村政について

- ・ 農林業のこと
- ・ 福祉のこと
- ・ 教育のこと
- ・ 交通問題のこと
- ・ 観光産業のこと



答弁を行う後藤村長

# 村営住宅の着手が遅れているが

## 村長＝平成十二年度には建設したい



富田 義行 議員



いっばんしつもん

歯科診療の希望が多い診療所だが……。

**問** 村営住宅は用地の特定まで進められながら、利用者の意向を探る等の理由でアンケート調査も行われ、具体化には相当の時間を要している。

我々は先の予算要望で、村の財政状況を考慮した内容での住宅建設ということ提起しているが「事業内容や住宅の構造、どの年度に具体化させようとしているのか」を伺いたい。

**村長** 現在五千九百四十㎡の土地の売買契約に入っているが、相続・登記関係で手続きが遅れている。土地買収ができれば平成十一年度中山間事業で土地造成・道路等の整備をし、十二年度には建設にかかれると思っている。

アンケート調査では、次男・次女やウターン家族の定住が見込まれるものと踏まえている。

住宅の構造や事業内容についてはまだはつきりした構想がなく、来年度から検討することになる。

**早く村診療所に  
歯医者さんを**

**問** 歯科診療に関し、これまで再三取り上げてきた。「多額のバス賃がかかること。家族が子供を連れて行かなければならないこと」などから、経済的・時間的に負担が大きく早く村内で診療できるように望む声が強くなっている。

歯科医師との折衝も待たれているが、現時点での課題をどう解決しようとしているのか伺いたい。

なお、高齢者のバス通院助成についても「検討課題」となっていたので、それも聞いておきたい。

**村長** いざ医師と交渉すると「診療機器設備の一切を

村で整備しないと容易でない」と言われる。そして行き着くところは患者の数になるようだ。それに患者の側から見ただけで医師の選択も非常に難しいし、医師とのそういう交渉も難しい。

村の条件にかなう人、村の患者の通院動向などを詳しく調べるためにも、もう少し時間を貸してほしい。通院費に対する助成は考えていない。

**焼石林道の管理責任を  
はつきりさせよ**

**問** 秋田側からの焼石登山に最もよく利用されている国道三九七号線からの道路が増田営林署認定の「林道」に入っておらず、村が毎年手直しはしているけれども「道路としての管理責任はどこにもない」ことが確認できた。

過去の経緯などを理由に管理責任がどこにもないという状態は放置できない課題だと思ふ。

営林署側もこの件については「こんなことではないけなし」という認識のようであり、いま村としての機敏な対応が求められている。

**村長** 村の担当課が営林署に伺って「貸してもいい。あるいは、道路敷地として村に売ってもよい」という段階の話になっている。ただしこれはあくまでも村と営林署の担当者同士の話であって営林局との公式の協議結果ではないので、公式の場での突っ込んだ答弁は差し控えた。

質問の趣旨にのっとって村のためにこれが一番良いという方向を、今後の検討課題などで話し合いたい。

# いっばんしつもん



伊勢谷政雄 議員

## 介護保険制度の開始後と今のちがいは

### 村長 Ⅱ 入る人も 運営するほうも 大変になる

**問** 介護保険制度を開始したとき、幸寿苑の運営には今とどんな違いが考えられるか。現在よりも改善される点があるのか。

**村長** 今までは何人いるかによって、国から措置費が来てそれで運営してきた。開始後は、所得の階層や介護を必要とする級別で分けられ、個人負担も食費などが徴取されることになるので、入る人も大変だろうが運営するほうも大変になるだろうと思っている。

**問** 幸寿苑への繰り出しは今後続くのか

**村長** 幸寿苑に十年度の一一般会計からの繰り出しが計上されているが、こうなった主な要因は何か。今後継続することになるのか金額はどうなるのか伺いたい。

かなりの赤字になっていたのが、今年は八百五万円の繰り出しになった。給料や賞与はそのベースによって上がってゆくが、国からの措置費はそんなに上がってゆかないので、当然足りなくなる。施設にも年々修理費などが多くかかってくる。従って繰り入れしなければやってゆけなくなる。今後については、国の措置費の方向づけをみんなでお願ひし、考えて行かなければならないと思っている。

### 村の農林業の今後をどう考える

**問** 今春から育苗センターが稼働し、苗の供給が始めるが「種の育苗だけの利用ではなく、他にも活用できないか」という声を聞く。村長はどのように考える。

**村長** いつも言うように、「村がどうやる」ではなく地域のリーダーの方々が創造的な発想の基に計画して種のはこうして使う、と。その後には行政なり農業団体なりに援助をお願いするというのが筋ではないか。

### 村の福祉行政はどうなるのか

**問** 介護保険制度を導入したとき、村の福祉はどう変わってゆくのか。

**村長** 現段階ではヘルパーを増員する体制づくりをしながらもやって行けるのではないかと考えている。これから介護保険制度の審査認定委員会なども作り、級別認定などをしなければ

ならないので、そのときにご相談いただければよい、と思っている。

**これからの交通問題はどうか**

**問** 国道三四二号の改良は今後も継続的に進められるのか伺いたい。

併せて、岩井川三又線のトンネル化に向けた見通しについても伺いたい。

**村長** 国道三四二・三九七および横手東成瀬線については当然お願いしている。ダム関連で車が多く来るようになると思うので、岩井川または車線の少ないところの早い改良をお願いしている。



デイサービスもしている幸寿苑

行政報告 — 村長



盛会だった 首都圏なるせ会十周年総会

▼国の景気動向は依然として低迷状態にある中で、大蔵官僚や道路公団幹部の汚職疑惑、国会議員の株取引による利益提供疑惑での逮捕許諾請求など、我々には理解しえないものがある。

▼政府与党幹部には、当面の景気対策として十年度予算を早期に成立させ、景気の動向次第では様々な手直しや施策が必要だ、という声があることから良く見守ってゆきたい。

▼県予算は一般会計で四・六パーセント増の大型予算で、県単投資額は二十・五パーセントの大幅増であることから、我が村にどのようにかつてくるかと関心をもっている。

▼村内の交通体系整備の取り組みとして、横手東成瀬線の通年通行化を強く要望

▼成瀬ダムは着工ダムとはなつたが事業着手が一年延長になつてきている。築堤は後になつても、用地買収とか付け替え道路などから着手できないものかと再三要望をしている。

▼なお新年度予算には建設省のダム計画に盛り込んでもらうための「ダム周辺整備計画コンベン」の費用を計上している。

▼去る二月十四日には首都圏なるせ会十周年記念総会が東京で開かれ、村からは一般参加を始め議員や農協商工会の婦人部による郷土料理スタッフに仙人太鼓のメンバーも加わつて参加し総勢二百余名の盛大な総会となつた。

▼今冬のジュネス栗駒スキー場及びホテルブランは前年比で二万六千人の入場込み減となつている。



なつかしい顔々

▼これは年末年始の一番の稼ぎ時に雪がなかったことが大きく影響している。

▼八月以降のホテルブランの定員稼働率は三十〜四十パーセントで推移している。

▼今年のジュネス雪祭りは好天に恵まれ、過去最高の入場者を記録した。

87%の世帯が「統合は必要である」と回答

～小学校統合に関するアンケート調査から～



教育行政報告 — 教育長

▼小学校統合に関するアンケート調査は全村八百九十六世帯に調査をお願いしたが、回収率は六十三・三パーセントであつた。

▼それによると「統合が必要である」と答えた方は、八十七パーセントで圧倒的に多かつた。

▼その規模については、全村一校統合が過半数の六十パーセントを超えている。

▼統合の時期については、

平成十一年度が、二十八パーセント

平成十二年度が、二十二パーセント

平成十三年度が、約二十パーセント

平成十四年度は、五パーセント弱

平成十五年度が、十三パーセントであつた。

▼本村小学校教育の現状を考える会では第三回会議を行つて、一応「統合」という方向で話がまとまつた。

▼統合の時期や場所、残された施設の用途などについて検討してゆきたい。

▼これまでの「現状を考える会」を「統合を検討する会」に改名して、新年度から活動する計画である。

# スポット

## こんな質疑がありました



交通安全はみんなのねがい……。

今回は31億9千3百万円となった  
平成10年度一般会計予算に関する  
主な質疑にスポットをあててみた

平成10年度一般会計予算は

「賛成多数」で原案可決となった。

### 一般会計「歳出」に関する主な質疑

#### 村公用車の 更新基準は何か

富田議員 村の公用車の更新はどのような考えで行っているのか。

総務課長 走行距離や使用年数による区切りの基準は作っていないが、一応十年を限度としている。

#### 自動車等の使用料の 内容を伺いたい

伊勢谷議員 一般管理費にある自動車等の使用料とはどんなことに使うのか。  
総務課長 夏場などに患者輸送や保育園の送迎など、車の使用がちな場合の、そのようなときの車の借り上げ料である。

#### 交通安全に関する 決議が生かされたか

富田議員 昨年の九月定例会で交通安全に関する決議

をしているが、この予算にそれが反映されているのか。  
総務課長 予算額では若干減額しているが、後退しないようにPRに努めてゆく。

#### 企画費の委託料と 工事請負費の説明を

高橋議員 企画費にある環境調査委託料と環境保全施設工事費の内容を伺う。  
企画課長 環境調査委託は成田先生に昆虫の調査を依頼するものだ。  
保全施設工事は、岩井川にハッチョウトンボの棲む旧耕田があって、その田に引水する工事を行うものである。

#### 携帯電話の通話可能 区域の拡大のために

富田議員 携帯電話の通話区域の拡大を考えた場合、岩井川などに造ったほうが効率が良いのではないのか。

#### 沼の又最終処分場の 汚水などは大丈夫か

富田議員 沼の又廃棄物最終処分場の地下水汚染などはどうなっている。  
総務(住民)課長 建設当初から浸透防止用のアスファルトで完全にしており、汚水についても沈殿層を備えたいわゆる基準に合った処分場である。

#### 低年齢児保育の 受入れ準備は万全か

富田議員 保育園の低年齢児保育のための整備は充分なのか。  
総務(住民)課長 前年度





工事再開を待つ早春の栗駒山荘

には床の張り替えをしたがベビーベッドなどの整備はしていない。

二、五歳児をめぐり対処して行きたいと考えている。

### 青果物センターへの 町村負担はいくらか

伊勢谷議員 十文字町のイ  
ンター付近に造成中の青果  
物センターに対する町村負  
担は示されているのか。  
農林課長 事業は九年度か  
ら十二年度までで、十年  
度の村の負担は九十九万円  
となっている。

### 温泉の引湯管洗浄は 効果がなかったのか

伊勢谷議員 プランの温泉  
引湯管の洗浄が新年度でも  
予定されているが、今年の  
洗浄結果は思わしくなかつ  
たのか。

### 栗駒山荘の 風対策などは万全か

富田議員 栗駒山荘の窓な  
どの風対策および消防防災  
対策はどのように考慮され  
ているか。

企画課長 軒は下からの吹  
き上げも考慮に入れた造り  
になっているし、窓は木製  
ながらも強度的には充分な  
もので設計されている。

防火水槽は十年度に駐車  
場へ設置するし、初期消火  
対策は自動火災報知器や屋  
内消火栓などで対処するこ  
とになっている。

### 定期バス延伸運行の 委託料の中身を伺う

富田議員 羽後交通へ支払  
う定期バス延伸運行委託料

の内容を伺いたい。

商工観光課長 ジュネス栗  
駒線が百八十万円で、須川  
線が二百九十三万円である。

### カントリーパークの 今後の造成計画は

富田議員 沼の又に造成中  
のカントリーパークの今後  
の計画を伺いたい。

建設課長 今年度は園路工  
事と舗装や瞑想の森の整備  
をして、開園させたい。

十年度以降の見直しにつ  
いては事業費の圧縮を前提  
にメニューの見直しを行  
いたいと考えている。

### 小学校体育館の 窓枠改修はどうなる

富田議員 樺川・岩井川の  
小学校体育館の窓枠改修が  
今回も見送られた。

この論法でゆくと、次は  
中学校の大規模改修が始ま  
るということで、益々後に  
追いやられる危惧がある。

教育委員会総務課長 議員  
や教育委員の訪問の際に学  
校から要望が出ていること  
は承知している。  
改修の必要は認めるが、  
今は村の財政運営に協力を  
して行くことが大事だ、と  
判断したものである。

### 公民館分館事業 活性化助成金とは何か

富田議員 公民館分館事業  
活性化助成金の具体的な内  
容を伺いたい。

教育委員会総務課長 これ  
まで分館には地区講演会と  
地区ミニスポーツの事業費  
が措置されていたが、これ  
を一本化して特色ある分館  
事業を行おうというもの  
がある。



小学校体育館の現況を視察する議員（岩井川小にて）

# 私もひとこと

## 議員さん 初心を忘れないで



滝の沢  
菅野由美子さん

村議会の傍聴に行きたいなあと思いつつも仕事を持っていると、チャンスがなかなかありません。村の中には同じ思いの人がたくさんいると思います。どこかの村で日曜議会をやったということ聞いた

ことがありません。議会だよりは毎回読んでいますが時々難しい用語があります。また私の職業柄、議会に対する評価を広い範囲で人々から聞くことができます。例えば一般質問者は年間通じていつも同じ人。中には四年間あるいはそれ以上も、賛成以外の発言がない議員さんというとか。少しオーバーだとは思いますが、立候補した時の決意や抱負、初心を忘れないで欲しいです。

それから傍聴した人の中では、質問者の質問要旨が判るコピーを渡して下されば「答弁内容などがもっと理解できるのではないか」という声もよく聞きます。それについての規制でもあるのでしょうか。今は副知事さんも女性の中。福祉・環境・教育など女の目から見た行政も必要です。村議も女性進出の時代かもしれませんね。村議のみなさん、これからの益々の奮起を期待しております。

**議会運営委員会からひとこと**  
菅野さんから指摘いただきました「一般質問の質問要旨の配付」については、議事日程などと併せて平成八年の十二月定例会から、ご希望の方々に差し上げておりますので、傍聴においての際は、お気軽に議会事務局へお申し出下さい。

季節はめぐり時は確実に過ぎ去ります。三月の卒業式ではさわやかな涙に参会者も共に感動し、若者たちはそれぞれ進学や社会人としての第一歩を踏み出した。大いなる躍進を願う。昭和二十年、私の卒業当時の校舎内は陸海空の少年志願兵募集のポスターばかり。国のため花と散ることに一点の疑いもなく、四月一日に入隊したものでした。卒業式の今昔を思うと教育の恐ろしさを痛感します。さて村の新予算は三億九千三百万円。予算の約一・七倍の村債五億三千三百万円余を含みながらスタートしました。隣接町村では下水道工事が次々と延びていますが、水源の我が村はいまだ手つかず。その他の住民生活関連事業は山積みしています。村の大構想三セク事業も七月オーブンの栗駒山荘で一段落だが、独立採算の企業意識を常に持ち続けたいものです。  
(委員 柳 邦夫)

## 採択と決定した 請願・陳情

- ▼国の「稲作経営安定対策」に県独自のかさ上げを行う事業に関する請願  
農民運動秋田県連合会委員長 佐藤長右衛門
- ▼地域における米対策の推進に関する陳情  
東成瀬村農業協同組合 代表理事組合長 高橋東美

## 意見書の提出

- 内閣総理大臣をはじめとする国の関係各機関などへ提出した意見書  
▼林業・木材産業の振興に関する意見書  
▼森林管理局(仮称)及び森林管理署(仮称)の設置に関する意見書
- 秋田県知事へ提出した意見書  
▼国の「稲作経営安定対策」に県独自のかさ上げを行う事業に関する意見書

みなさんからの  
**請願・陳情**  
このようになりました

## 自治功勞 表彰



古谷正久議長が  
自治功勞表彰を受賞

古谷正久議長は、地方自治に貢献した功勞(議会議員として十一年以上の在職)が認められて、この度秋田県町村議会議長会からの表彰を受けました。

## 編集室

季節はめぐり時は確実に過ぎ去ります。三月の卒業式ではさわやかな涙に参会者も共に感動し、若者たちはそれぞれ進学や社会人としての第一歩を踏み出した。大いなる躍進を願う。昭和二十年、私の卒業当時の校舎内は陸海空の少年志願兵募集のポスターばかり。国のため花と散ることに一点の疑いもなく、四月一日に入隊したものでした。卒業式の今昔を思うと教育の恐ろしさを痛感します。さて村の新予算は三億九千三百万円。予算の約一・七倍の村債五億三千三百万円余を含みながらスタートしました。隣接町村では下水道工事が次々と延びていますが、水源の我が村はいまだ手つかず。その他の住民生活関連事業は山積みしています。村の大構想三セク事業も七月オーブンの栗駒山荘で一段落だが、独立採算の企業意識を常に持ち続けたいものです。  
(委員 柳 邦夫)